

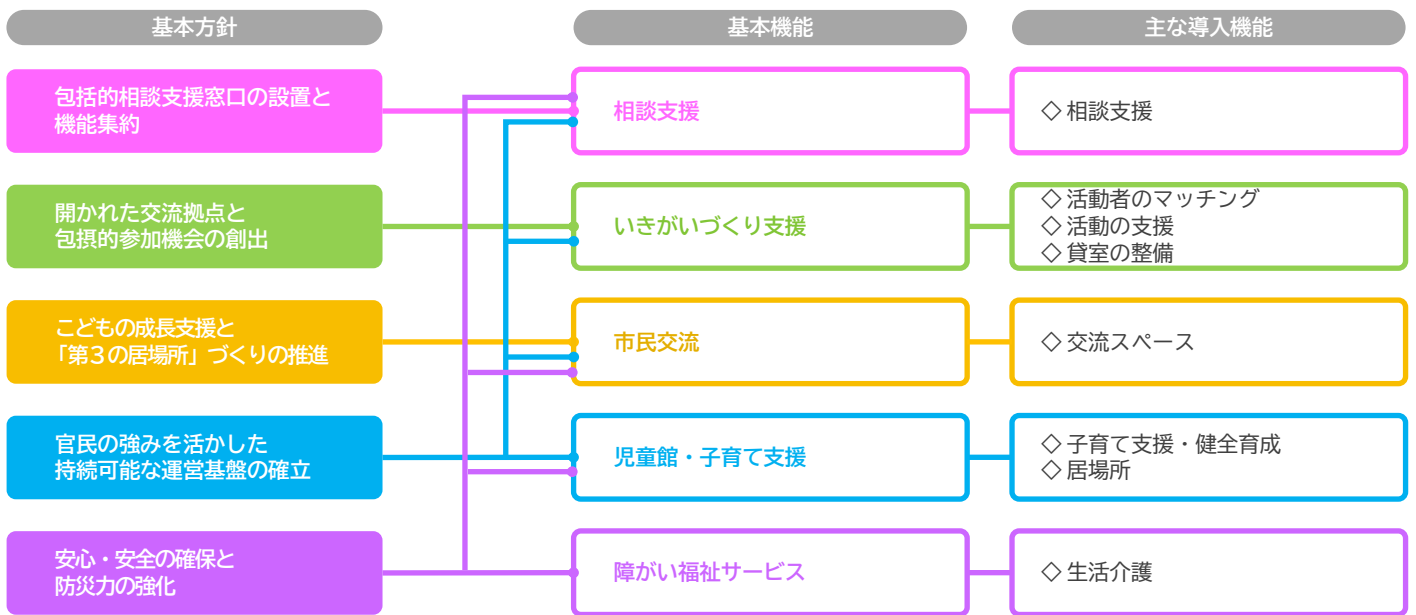
総合的な福祉拠点整備基本計画(中間案)

1 計画の趣旨

本計画は、令和6年度に策定した『総合的な福祉拠点整備基本構想』の基本理念である「いのちと生活を守る包括的な支援拠点」、「人生100年時代のいきがい創出拠点」を実現するために、導入機能や施設規模・配置、事業手法等の具体的方針を定めることを目的としています。

2 福祉拠点整備の基本的な考え方

次の5つの基本方針により福祉拠点を整備します。

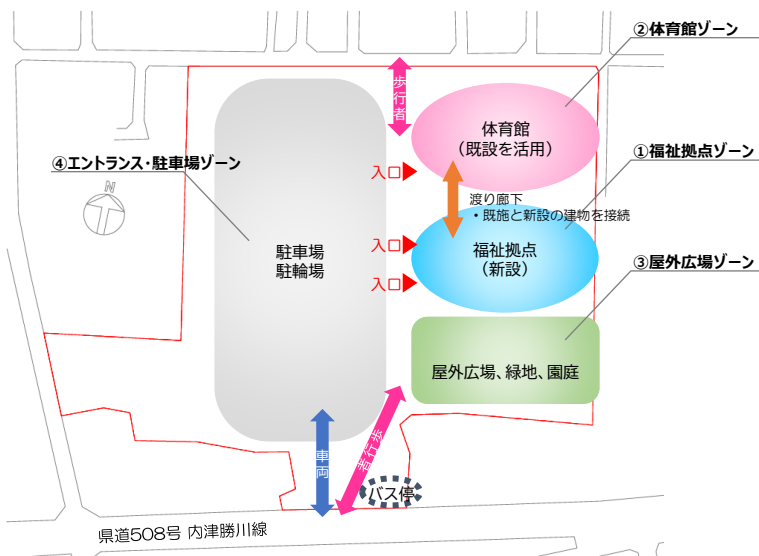


3 福祉拠点の施設計画

福祉拠点の整備予定地は、総合福祉センター、児童センター、福祉文化体育館及び福祉作業所が立地する敷地内とします。

ゾーニング計画

体育館は、既存の福祉文化体育館を一部改修し、継続して利用します。
新たな福祉拠点は福祉文化体育館南側に整備します。



① 福祉拠点ゾーン

相談支援や市民活動・ボランティア活動支援、貸室、児童館・子育て支援、障がい福祉サービスに関する諸室、フリースペースなどを配置します。

② 体育館ゾーン

既存の体育館に必要な改修を行った上で、福祉拠点と一体的に運営します。

③ 屋外広場ゾーン

児童館の園庭と緑地、屋外広場を一体的に配置し、誰もが気軽に滞在・交流できる開放的な場とします。

④ エントランス・駐車場ゾーン

駐車場は平置きで十分な台数を確保します。

各ゾーンの施設規模

①福祉拠点ゾーン

諸室	面積
相談支援	700㎡
市民・ボランティア活動支援	310㎡
貸室	1,000㎡
ホール	500㎡
会議室1～5	190㎡
多目的室A	150㎡
多目的室B（体操、ダンス、卓球）	80㎡
多目的室C・D（音楽練習）	65㎡
印刷室	15㎡
フリースペース	595㎡
児童館・子育て支援	400㎡
障がい福祉サービス（生活介護）	400㎡
共用部	995㎡
合計	4,400㎡

②体育館ゾーン

諸室	面積
貸室	1,570㎡
体育館	900㎡
その他	670㎡

③屋外広場ゾーン

児童館園庭（120㎡）、緑地、屋外広場

④エントランス・駐車場ゾーン

駐車場（約300台）、自転車・バイク置き場（約60台）

4 事業手法・運営方針の検討

基本的な考え方

（1）春日井市社会福祉協議会の役割

春日井市社会福祉協議会（以下「市社協」という。）は、専門性の高い相談員や地域福祉コーディネーターなど、福祉に関する経験と知識が豊富な人材を有しています。福祉拠点においても、福祉の専門性が求められる事業については、市社協が有する知見や人材を有効に活用することが望ましいと考えられます。

（2）民間事業者のノウハウと創意工夫を活用した市民サービスの最大化

施設の設計・整備から維持管理・運営までを長期的視点で捉え、市民サービスの向上とライフサイクルコストの低減を期待し、PFI事業を含め、適切な整備手法を選択します。

（3）福祉拠点に新設する機能や集約する機能

- ① 総合相談窓口の新設
- ② 市民活動の支援機能とボランティア活動の支援機能の統合
- ③ 総合的な要素のあるカフェの新設

事業スケジュール

業務項目	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
従来手法							
解体・整地			福祉作業所				その他施設
設計	基本設計	実施設計					
建設			※	建物			外構
開業準備			※計画通知・積算・工事発注				
PPP/PFI手法							
事業者選定							
解体・整地			福祉作業所				その他施設
設計		基本・実施設計					
建設				建物			外構
開業準備							

※ 事業手法は、現在実施しているPFI等導入可能性調査における民間事業者の参画意向や事業範囲等の市場調査の結果をふまえ、今年度中に整理します。

概算整備費

（単位：千円）

諸室	面積
建築設計	398,000
各種申請手数料	7,000
解体設計費	21,000
解体工事費	527,000
建築工事費	4,891,000
備品	356,000
合計	6,200,000

※体育館の改修に係る費用は含まれていません

【お問合せ先】

〒486-8686 春日井市鳥居松町5丁目44番地
春日井市 健康福祉部 福祉政策課 企画担当
電話 0568-85-6184 FAX 0568-84-8731
E-mail fukusei@city.kasugai.lg.jp

構想案のダウンロード
等はこちらから

